

## 令和7年度 八王子市立長池小学校経営計画

### 学校教育目標

◇よく考え 学ぶ子（重点目標） ◇思いやりをもち 助け合う子 ◇明るく 元気な子

#### 1 学校教育目標について

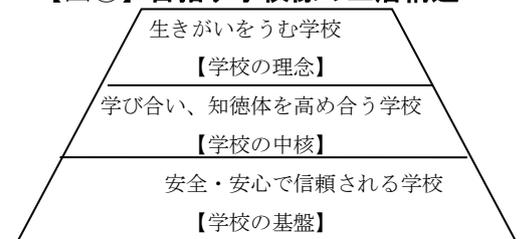
本校の学校教育目標は、「よく考え 学ぶ子」・「思いやりをもち 助け合う子」・「明るく 元気な子」である。この目標には、平成9年の開校以来本校に関わってくださっている地域の皆様、保護者の皆様の願いも込められていると考える。本年度は、校内研究において国語科「物語文」を学校全体で研究していくこともあり、「よく考え 学ぶ子」を重点目標とする。

#### 2 目指す学校像

学校目標の実現にあたり以下の3点を「目指す学校像」とする。

- 1 安全・安心で信頼される学校【学校の基盤】
- 2 学び合い、知徳体を高め合う学校【学校の中核】
- 3 生きがいをもつ学校【学校の理念】

【図①】 目指す学校像の三層構造



安全・安心と信頼を基盤として、大人も子どもも学び合うことを中核とした学校で、生きがいをもつことを目指していきたい。図示すると、【図①】のとおり三層構造で表すことができる。

#### 3 中期的な目標及び方策

##### ◇学校の基盤 ～「安全・安心で信頼される学校」づくり

「安全・安心なくして学校なし」であり、これは学校の基盤である。「安全・安心」には環境的な面と精神的な面があり、そのどちらも確保することで保護者・地域の皆様の信頼を得ていきたい。

##### (1) 環境面の安全・安心の確保

- ①施設・設備・遊具などの安全点検を全教員で毎月実施、記録、報告。不具合等に対しては即時対応する。
- ②全校共通の生活のきまりを確実に指導する。
- ③全教職員で子どもたちの見守り・声かけ・安全確保・生活指導に取り組む。

##### (2) 精神的な面の安全・安心の確保

- ①子どもたちが安心して学校生活を送れるようにするため、全児童対象のふれあい月間のアンケート（6月・11月）・個別面談・5年生へのカウンセラー全員面談・QUアンケート（1学期・5・6年生対象）を実施する。

- ②教員は常にアンテナを高くして子どもの様子を観察し、子どもの声に耳を傾け、子どもに語りかけ、気になる子どもがいたら全体で情報共有する。
- ③週一回、毎週金曜日に行ういじめ対策委員会において、気になる児童の様子を全体で共通理解し、また共通の方針のもと指導に当たっていく。
- ④特別支援教育に関する教員研修（校内で2回実施、さらに市の悉皆研修、都の研修）を通して教員の特別支援教育に関する理解を深め、特に合理的配慮について全教員が共通理解し、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにする。
- ⑤八王子市小中一貫教育に関する基本方針に基づき、松木中学校グループ3校（松木中・松木小・長池小）が連携して児童・生徒理解や学習・生活指導の充実を図る。

### （3）保護者・地域と連携した安全・安心の確保

- ①登下校の安全確保 ながいけ会による登校見守り・下校防犯パトロール
- ②青少対による地域パトロール
- ③地域の防災協議会との連携
- ④地域防犯パトロールや地域美化活動への教職員の参加

### （4）信頼される学校であるために

教職員の遵法精神や服務意識を高める。

校長・副校長は、管理職として教育課程・人・物・金の管理及び教職員の身分上・職務上の監督に努める。教職員には「信頼はコミュニケーションから生まれる」という意識をもつとともに、「礼を正す」「時を守る」「場を清める」ことについて、まず自らが範を示す姿勢を見せるよう心掛けさせる。大人が子どもの範となることは教育の基本である。

## ◇学校の中核 ～「学び合い、知徳体を高め合う学校」づくり

学び合い、知徳体を高め合うことは、学校の中核である。

長池小学校を、教員も子どもも学び合い、高め合う学校としたい。

### （1）「学び合う大人」のために

- ①校内研究への取組を通して教員の授業力の向上を図る。
  - 研究主題「主体的に考え、すすんで学ぶ児童の育成 ～国語科「物語文」の指導を通して～」
- ②学年会を学び合いの場に
  - 毎週学年会の時間を確保し、週案や授業内容についての話し合い、児童に関する情報交換を行い、学年経営・学級経営の充実を図る。
- ③教員研修の充実
  - 小教研に積極的に参加させ、授業力の向上を図る。
  - OJTの充実を図るため、主任教諭による研修会を計画的に実施し、教師力の向上を図る。
  - 都教委が主催する研修会をはじめ、外部の研修にも積極的に参加させる。

### （2）「学び合う子ども」のために

- ①基本的な生活習慣を確立し、学習へ向かう心、雰囲気をつくる。
  - 「長池小学校のやくそく」

- ②教員の授業力の向上。(校内研究・各種研修・OJT 等)
- ③積極的に運動に取り組むための工夫。(体育の授業の充実、体育集会の充実、なわとび・ジョギングタイムの取組)
- ④特別活動・学級活動の充実。
- ⑤運動会、音楽会、作品展、移動教室、宿泊学習、遠足等の行事の充実。
- ⑥たてわり班活動の充実。
- ⑦朝読書、学校司書による読み聞かせ、保護者の皆様による「おはなしたまてばこ」等を通じて読書に親しむことで、豊かな情操や語彙力、考える力を育む。

### ◇学校の理念 ～「生きがいをもつ学校」づくり

「安全・安心で信頼されること」を基盤とし「学び合うこと」を中核とした学校において、子ども・保護者の皆様・地域の皆様・教職員にとっての「生きがい」を追求することを本校の理念とする。

「生きがい」とは、生きていく上での支えとなる、心の張り合いのことであり、「生きていて良かった」と思えるようなことを意味する言葉であると考え。何に対してそのように思うかは人それぞれであるが、心からの喜びや楽しみ、充実感を味わっているとき、人は「生きていて良かった」と思えるのではないだろうか。

その前提として、大人であれ子どもであれ、一人一人が毎日を安心して過ごせることが大切であると考え。そのためには、まず「何でも話せる雰囲気」が大切であり、そのような雰囲気をつくっていくのは、教職員に関しては管理職の責務であり、学級に関しては担任の責務である。

そして、「安心して過ごせる」環境で「仲間と力を合わせている」「自分の努力が仲間の役に立っている」「自分は必要とされている」という共同・協働の実感や自己有用感が「生きがいの中核」ではないかと考える。学校における教育活動を通して子どもも大人もこのような実感を抱ける学校、職場をつくっていく。

「子どもが生きがいを感じているか」を確かめることは難しいが、月例の児童向けアンケートを読み取ることや、何よりも日々の子どもの様子、目の輝きを感じ取る大人の感性が求められる。

大人については、まず教職員が日々の教育活動を行うことにやりがいを感じ、また伸び伸びと力を発揮できる環境をつくっていく。また、教職員、保護者・地域の皆様が長池小学校の教育活動を通して関わり合う中で、子どものために行っている活動が「自分にとってもやりがいがある、楽しい、充実している」とポジティブに感じられるようにしていきたい。そのために学校運営協議会やながいけ会、ボランティアコーディネーターの皆様とともにボランティア活動をはじめとした様々な活動が無理なく、充実したものになっていくよう知恵を出し合い、取り組んでいく。

(1)「安心して過ごせる」という「生きがいの基盤」のために。

①子どもの安心のために

○月例アンケート、個別面談、カウンセラーによる5年生全員面談、5・6年生に対するQUアンケート実施(1学期)

○教師はアンテナを高くして日々きめ細かい観察、語りかけ、情報共有、合理的配慮

②大人の安心のために

- ライフワークバランスの重視
- 伸び伸びと、思う存分力を発揮する中で、誠実な切磋琢磨ができる職場環境作り
- 安心して何でも話せる雰囲気作り（一人で抱え込まない）

(2)「仲間と力を合わせている」「自分の努力が仲間の役に立っている」「自分は必要とされている」と実感するために

①子どもの実感のために

- 学級活動、グループ活動、たてわり班活動等仲間と一緒にいる活動の充実
- 特別活動の充実

②教員の実感のために

- 校務分掌（部会等）における協働
- 学年会・研修会・OJT等の充実

(3)「自分も成長し、みんなも成長している」と実感するために。

①子どもの実感のために

- 「分かった!」「できた!」という実感のもてる授業
- 自ら考え、伝え、学び合う授業
- 日々目標をもって生活・学習に取り組み、振り返りをする
- 行事・特別活動等への自主的・主体的な取組

②教員の実感のために

- 学校経営への共同的参画
- 授業力向上の取組（校内研究、OJT、小教研等の様々な研修等）

このような取組を通して、「長池小学校に通って良かった」「長池小学校に通わせて良かった」「長池小学校で働いて良かった」「長池小学校と関わって良かった」と思われる学校づくりをしていく。